北九州市立菊陵中学校
学校だより
令和６年１月30日号
校 長　上 赤 義 人

学校教育目標
生徒一人一人の個性の伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた、
感謝の心をもつ自立した生徒の育成

自分の命は自分で守る

元日から能登地方の震災、羽田空港の事故、魚町銀天街付近の火災などが続き、心を痛められたことと思います。お亡くなりになられた方に心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された方にお見舞い申し上げるとともに、被災地の皆さんの生活が一日も早く復興されることを願っています。

一方、このような甚大な災害や事故を通して、私たちも日ごろの学校における危機意識について考えなくてはなりません。

・「とにかく、すぐ逃げてください。」と叫ぶように繰り返し伝えた NHK のアナウンサー、

・燃え盛る機体の中から 400 人近い乗客を全員避難させた日本航空の乗務員のみなさん

・余震の中で、二次被害の危険と隣り合わせで、懸命に命を救おうとする消防、警察、自衛隊、自治体などのみなさん

すべて、日ごろからのしっかりとした準備の中から生まれてきた行動だと思います。私たち一人一人が当事者意識をもって備えておくことが大切だと思い知らされました。

この機会に、みなさんも、避難訓練などを通して、自分自身が災害や事故から自分の命を守ることをしっかりと考え、日頃の危機意識を高めてください。

さて、今、本当に学校で地震や火事にあったらどうしますか?避難の基本は、小学校の時に習ったと思いますが、「おかしも」です。「(お)押さない・(か)かけない・(し)しゃべらない・(も)戻らない」です。これは、中学生も大人も同じです。実際に大地震や火事の時は、校内放送が壊れ避難指示が一斉にはできないかもしれません。そして、状況によってはグランドや体育館に集合しないで校舎の中にいた方がよい場合もあります。

12 月に校区の安全確認をすることで、地元の魅力と注意すべきことについて再確認をさせ、防災意識や自治意識を高めることを目的として J-DIGs【Disaster（災害）Imagination（想像力）Game（ゲーム）の頭文字を取って名付けられたもので、参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練】の取り組みを行いました。小倉北消防署富野分署の方々から、菊陵中校区の拡大マップとハザードマップを使って、自分たちで改めて、防災マップを作ることをご指導していただきました。

自分の普段の心構えと状況判断が生死を分けます。まさに、「自分の命は自分で守る」という意識を常日頃から定着させることが大切です。

また、おうちの人とも自宅や地域で地震や火事に遭った時はどうするのか、地域の避難場所はどこなのか等を確認しておいてください。

★令和5年度北九州市教育委員会児童生徒善行表彰「福原賞」を受賞

「学校だより５月15日号」で紹介しました本校生徒の善行が、「福原賞」に選出されました。

★北九州市立ひまわり中学校の校章デザイン優秀賞を受賞

来年度本校校舎内に開校する「ひまわり中学校」の校章デザイン募集に応募した本校生徒の作品が、最優秀賞にはなりませんでしたが、それに次ぐ優秀賞を受賞しました。

お　知　ら　せ

令和５年度第 77 回卒業証書授与式は、令和６年３月８日(金)に実施予定です。後日、詳細をお知らせします。